

第1回「(仮称) 市民公益活動推進のための基本指針」検討委員会議事録

I 日時 平成18年7月28日(金) 午後5時から午後7時

II 場所 市役所別館駐輪場7階会議室

III 委員 9名

- ・荒木昭次郎委員(熊本県立大学総合管理学部教授)
- ・福島貴志委員(NPO法人 IOBスポーツ振興事業団理事長)
- ・中島久美子委員(NPO法人 熊本県子ども劇場連絡会副代表、熊本市子ども劇場連絡会代表)
- ・村山知之委員(ボランティア団体 立田山自然探検隊副会長)
- ・安達由美委員(ボランティア団体 自立の店「ひまわり」総合女性センター店リーダー)
- ・丸山鶴雄委員(桜木東校区自治協議会会長、桜木東校区2町内自治会長)
- ・森山弘子委員(碩台校区10町内自治会長)
- ・鳥飼吉継委員(公募市民)
- ・益田香代子委員(公募市民)

IV 事務局

- ・市民協働課長以下職員4名

V 次第

1. 市長挨拶
2. 各委員の紹介及び委嘱状交付(市長より各委員へ公布)
3. 検討委員会会長職及び会長職務代理者(副会長)の選任
4. 各委員が関係されている団体・組織活動の紹介・課題等について

VI 議事録

(1) 検討委員会会長職及び会長職代理者(副会長)の選任について

- ・(会長)委員の互選により、荒木委員が選任されました。
- ・(会長職務代理者)丸山委員が選任されました。

(2) 各委員が関係されている団体・組織活動などの紹介(1委員10分程度)

(各活動を通じ感じている意見・課題等)

- ・ボランティア活動は困っている人の救済ではなく、自己啓発の面を持つ。
- ・集合住宅が増え、隣に住む人を知らないような街になりつつあると感じる。
- ・自治会、NPO、ボランティア、行政等をつなぐネットワークづくりや融合させる仕組みが必要と思う。
- ・地域、NPO、企業の融合も必要であると思う。

- ・ボランティア・NPO活動は始めること以上に、続けることが大変である。
- ・若い人（学生さん等）は、何かやってみたいという想いは持っているので、それを実際に何らかの活動に結びつける仕組みが必要と思う。
- ・障害者に係わる活動を通じ、周りの人たちが障害者のことを理解し変わっていく様子を日々感じている。
- ・活動メンバーの広がりがない面がある。等

（３）次回開催日について

日時：平成18年8月9日（水） 午後5時から

場所：市役所4階モニター室

（４）次回以降の検討会審議について

- ・会長より、本日紹介された、各委員の活動や課題等については、大変意義のあるものとの講評とともに、今後の検討委員会では、活動を推進していく上での課題や問題点等について各委員から意見を出して頂きつつ、市民公益活動の基本的な考え方、および、その活動のあり方等についても議論を進め、指針全体をまとめていきたいとのご意見に対し、委員の皆さんよりご賛同を頂きました。